

東寺尾地域ケアプラザは、認知症に関する理解や 認知症支援活動の輪を広げる取り組みをおこなっています。

その取組みのひとつとして、1月22日に東寺尾 **キャラバン・メイト** 連絡会を開催しました。

ケアプラザからは地域の現状や昨年度の振り返りを伝え、参加者の方には「活動の輪を広げるには」というテーマで意見交換をおこなっていただきました。

皆様からいただいた貴重な意見を活かし、認知症に関する正しい理解の普及啓発、また認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる町づくりに取り組んでいきます。

認知症になっても、安心して自分のペースで買い物ができる。

いざというとき、周りの人が気付いて手を貸してくれる。

地域の仲間と顔を合わせながら趣味や好きなことを続けられる。

認知症カフェや地域のサロンなどで、仲間と集まり、楽しい時間を過ごすことができる。

※ **キャラバン・メイト** とは、認知症に関する正しい知識と具体的な対応方法等を地域住民に伝える講師役を担える方たちのことです。